

7月23日に神戸学院大学において学校安全総合支援事業  
高校生等防災ジュニアリーダー学習会(全体学習会)が開催され

ました。本校は主幹校として会の運営にあたりました。午前中は環境防災科初代科長の諏訪清二先生による「災害と向き合う」というテーマで、午後からはNPO法人多言語センターFACIL山口まどか先生による「世界のBOSAI私たちにできること」というテーマで講演いただきました。どちらも近くの人とのワークショップも含まれており、違う学校の生徒同士で意思疎通を図りながらの時間を過ごしました。その後アクションプラン作成に向けて、各学校の地域性や課題などを班ごとに出し合い、発表し合う時間を持ちました。本校生はワークショップでも意見集約等積極的に働きかけを行い、会を引っ張りました。県下35校の生徒が集まり、

地区別学習会を経て、11月に活動報告を行います。運営もさることながら生徒たちの積極的な姿勢に触れ、今後何を考えて行かねばならないか、またどのように伝えていかねばならないかを考えて行きたいと思いました。

7月24日には西播磨地区学習会を見に行きました。兵庫県立大学青田良介教授のご指導の下、「HUG避難所運営ゲーム」に取り組んでいました。避難所に避難してくる人の条件はいろいろであり、その方々を体育館、教室等にどのようなグループで場所を確保してもらうか等を話し合っ避難所運営を考えるゲームです。阪神・淡路大震災時に避難所運営にあたった経験から生徒たちの考えた配置を見させてもらいましたが、条件の設定をどのように当てはめていくかを考える練習になったと思います。午後からは各校のアクションプランについて考えたことを最後は各校発表という形で締めくくりました。姫路商業高校は「高校生ボランティアアワード2023」に応募し、全国発表が決まった内容をプレゼンしており、保存食としてパンの缶詰制作を企業と一緒に行った内容でした。各学校とも避難訓練の意識の低さを危惧して、生徒主体での避難訓練のあり方や危機意識の持たせ方についての発表が多かったように思います。



7月26日には神戸地区学習会が行われ、人と防災未来センターにおいて午前中は語り部の方からの話を聞き、館内を散策。私も何度か行ったことはあるのですが、新たな体験ゾーンもできており、津波や台風の進路を知ったり、地震を実際に起こしてみたり、と内容は充実しており、震災学習にはもってこいの場所になっていて驚きました。館内での最後は「こころのシアター」で「逃げよう～大切な命を守るために」という映画を鑑賞。人命救助と自身が逃げるということは、相反することになるかもしれませんが、自らの命を守ることが防災であるとも言われており、とても考えさせられました。午後からは



国際健康開発センターに場所を移し、アクションプランの作成を行いました。最初に人と防災未来センター高原主任研究員から「高校生ができる防災減災教育とは」というテーマでお話をいただき、アクションプランを立てるだけでなく実行することが大切であるということを強調されていました。それぞれ学校毎に考える時間をもらって最後には発表。本校は3班に分かれ、防災運動会や地域交流の見直し、発信の仕方を考える、多くの人を巻き込んだ防災教育実施、防災新聞の発行など地域に根ざしたことを普通科にも広めつつ学校として取り組める内容のアクションプランを考えました。本校生は会終了後には反省会を持ち、今後の取組について検討し合うなど今までの経験値を上級生から下級生に伝え、継続していこうとする様子が見られました。



7月27日は東播磨地区学習会に行ってきました。拠点校である西脇北高校体育館及びその周辺での体験学習でした。ウッドガスストーブ作製とバッククッキングで、ペール缶2個を通風口となる穴を開けたり、側面を叩いて隙間を作るようにしたりして重ね、薪を入れてストーブを製作、食材は調理室で具材を切ったものをビニール袋に入れてストーブ上の鍋で湯せん。できあがったものをお椀に入れて食べるという工程でした。これもお椀を洗わなくて済むようにビニール袋に食材を入れています。カレーを作ったのですが、炎暑の中、火を扱うので暑さ対策が大変でした。しかしながら集まった生徒たちは生き生きと作業に取り組んでいました。講師は、西脇北高校

高槻先生が務められたのですが、とても手際よく生徒たちの体験を見守りながら、「今日の体験をどのように伝えるか、ここから何を生み出すかが大事」と生徒たちに声をかけられていました。本校におられた稲岡先生(現西脇北高校)と榊田先生(現明石北高校)が生徒と一緒に活動に参加されていました。

各地区の取組を見せていただき、集まった生徒たちが各校でどのような働きかけをしていくのかに期待したいと思いました。本校では主幹校としてとりまとめをするのですが、本校としても全校生への発信の仕方や協力の求め方など考えていかねばならない点はたくさんあります。先生方と一緒に生徒たちの提案も受け入れながら本校としての取組を進めていきましょう。先生方・保護者の皆様並びに地域の皆様のご協力をお願いします。各地区拠点校でお世話いただいた先生方ありがとうございました。

(追加)

7月27日全国高等学校野球選手権大会兵庫大会において私の前任校兵庫県立社高等学校が昨年に引き続き優勝し、甲子園へ行くことになりました。選抜大会に出場した選手たちが激戦兵庫の地区予選を勝ち抜いた姿に感動を覚えましたし、その成長ぶりには目を見張るものがありました。自分たちで課題を考え、突き詰め、お互いに支え合うことを実践し続け、野球を理解してきた結果だと思いました。甲子園での活躍を期待します。同時に同じ高校生です。面談でもいつも言っていますが、自らモチベーションを高め、継続していくことの大切さを理解し、取り組めれば本校生も必ずや結果に結びつけることができるはずです。終業式で話をした内容を今一度思い出して、8月以降の取組に反映させて欲しいと思っています。